

CITIZEN

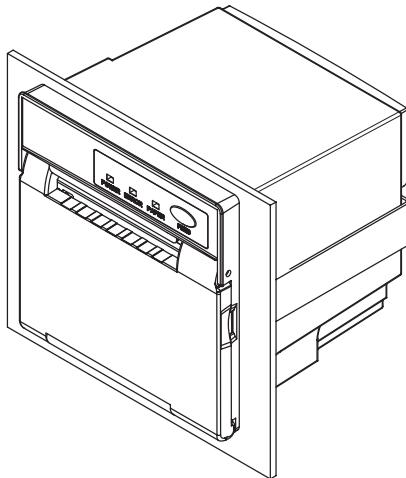
ラインサーマルプリンター

MODEL

CT-P290/CT-P291

CT-P292/CT-P293

取扱説明書



シチズン・システムズ株式会社

電波障害自主規制

この装置は、クラスA 機器です。

この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こす可能性があります。

この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

ご注意

- ご使用前に必ず本書をお読みください。読み終わった後は、大切に保管し、必要なときに読み直しできるようにしてください。
- 本書の内容は、予告なく変更されることがあります。
- いかなる手段によっても、本書の内容を無断で転写、転用、複写することを禁じます。
- 本書の運用結果につきましては、内容の記載漏れ、誤り、誤植などに間わらず、当社の一切の責任を負いかねます。
- 本書に指定されている製品以外の別売品や消耗品を使用した場合の結果として発生したトラブルにつきまして、当社は一切の責任を負いかねます。
- 本書で指示している部分以外は絶対に手入れや分解、修理は行わないでください。
- お客様の誤った操作取り扱い、使用環境に起因する損害については責任を負いかねますので、ご了承ください。
- データなどは基本的に長期的、永久的な記憶、保存はできません。故障、修理、検査などに起因するデータの消失の損害、および損失利益などについては、当社では一切責任を負いかねますので、ご了承ください。
- 本書の内容について記載漏れや誤り、不明点などがございましたらお買い求めの販売店へご連絡ください。

EPSONおよびESC/POSは、セイコーエプソン株式会社の登録商標です。

QRコードは（株）デンソーウエーブの登録商標です。

CITIZENはシチズン時計株式会社の登録商標です。

本文中の会社名、商品名は各社商標、または登録商標です。

Copyright ©シチズン・システムズ株式会社 2017年

安全上のご注意…必ずお守りください!

本製品をご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みになり正しくお使いください。正しく取り扱わないとと思わぬ事故（火災、感電、けが）を起こします。

お使いになる方や他の人への危害、財産への損害を防ぐために、必ずお守りください。

- お読みになった後は、お使いになる方が、必ずいつでも見られるところに大切に保管してください。
- 本章は、ご使用になる製品により一部説明が該当しない項目もあります。

表示された指示内容を守らずに、誤った使用によって起こる危害及び損害の度合いを、次のように表示し説明しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を守らずに、誤った使い方をすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を示します。



注意

この表示を守らずに、誤った使い方をすると「障害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容を示します。



注意

マーク付近の部品が高温になります。動作中または動作直後は手を触れないでください。触るとやけどをする恐れがあります。



警告

用紙排出口部分にカッターがあります。この部品に触ると怪我をする可能性がありますので、指を入れないでください。



このマークは、気をつけていただきたい「注意喚起」の絵表示です。



このマークは、感電、静電気を気をつけていただきたい「注意喚起」の絵表示です。



このマークは、電源プラグを抜いていただきたい「情報」の絵表示です。



このマークは、やり方などの「情報」を示す絵表示です。



このマークは、してはいけない「禁止」を示す絵表示です。

プリンター設置上のご注意

⚠ 警告

■ 本製品を下記の場所で設置、保管、使用はしないでください。

- * 火気や水気のある場所
- * 直射日光のある場所
- * 暖房器具や熱器具などの近く
- * 空気中に塩分やガスを含んでいるような場所
- * 通気性の悪い場所
- * 実験室など化学反応を起こすような場所
- * 油、鉄粉、ごみ、ほこり等の多い場所
- * 静電気、強い磁界がおきやすい場所
- ・ 本製品が破損もしくは故障、加熱、発煙、発火する恐れがあります。火災、感電の原因になることがありますので絶対に行わないでください。



■ 本製品に下記の異物や液体などを落とさないでください。また、本製品の上に下記の物質をおかないでください。

- クリップ・虫ピン・ネジ等の金属類を落とさないでください。
- 花瓶、コップ等の水などが入った容器類を上に置かないでください。
- 本製品にコーヒー、ジュースなどの液体類をこぼさないでください。
- 殺虫剤などの薬剤などを吹きかけたりしないでください。
- ・ 异物が本製品の内部に入ると故障、火災、感電の危険があります。
万一、異物が内部に入った場合、必ず電源を切り電源プラグをコンセントから抜き、お買い求めの販売店へご連絡ください。



本製品を下記のような操作は行わないでください。

- 本製品を踏んだり、落としたり、叩くなど強い力や衝撃を与えないでください。
- 本製品を分解、または改造。
- ・ 本製品が破損もしくは故障、加熱、発煙、発火する恐れがあります。火災、感電の原因になることがありますので絶対に行わないでください。



■ この機器は子供がいる可能性のある場所での使用には適しません。小さなお子様が手の届かないところで、設置、保管、使用をしてください。

- ・ 電気製品は誤って取り扱うと思わぬけがや事故を起こして危険です。
- ・ 電源コードやケーブル類、本体内部のギアや電気部品にお子様が触れないように注意してください。
- ・ 本製品が入っていた袋は、お子様がかぶらないように、手の届かないところに保管または破棄してください。かぶると窒息の恐れがあります。



⚠ 注意

本製品を下記の状態で使用しないでください。

- 振動があったり、不安定な状態
- 本製品を傾けた状態
- ・ 落下等でけがの原因になることがあります。
- ・ 印字品質が悪くなることがあります。
- 本製品の換気口を壁や物で塞いだ状態
- 本製品の上に物を載せた状態
- 本製品を布や布団で覆ったり、包んだ状態
- ・ 熱がこもり、ケースの変形や火災の原因になることがあります。
- 本製品をラジオやテレビ受信機の近くでの使用や同じコンセントの電源使用。
- 本製品をノイズなどに弱いケーブルやコードで接続した状態。
(シールド線、ツイストペア線、フェライトコアなどノイズ対策をしているケーブルを使用してください。)
- ノイズの多い機器と接続しての使用。
- ・ 受信障害の原因やノイズによるデータ化け等の誤動作の原因になることがあります。
- 本製品を縦置きや横向きに設置した状態。
- ・ 誤動作、故障、感電の原因になることがあります。



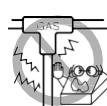
■アースを接続してください。

- ・ 万一、漏電した場合感電の原因になることがあります。



■本製品のアース線を下記の場所に絶対つながないでください。

- * ガス管
 - ・ 爆発の危険があります。
- * 電話線のアース
- * 避雷針
 - ・ 落雷のとき大きな電流が流れ、火災や感電の原因になることがあります。
- * 水道管
 - ・ プラスチックになっている場合があり、アースの役目を果たしません。 (ただし、水道局がアース対象物として許可した水道管は接続できます。)



■本製品のアース線をつないだり外したりする時は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

プリンターお取り扱い上のご注意

! 警告

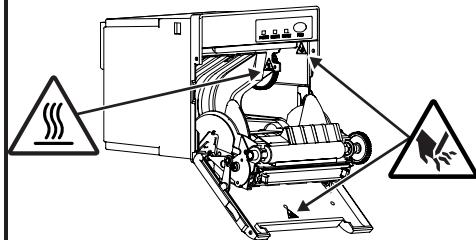
電源コード、電源プラグの取り扱いについては下記の点をお守りください。

- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
- 指定された電圧、周波数以外で使用しないでください。
- 指定されたACアダプター以外を使用しないでください。
- 同梱された電源コードを必ず使用し、またその電源コードを他の製品に使用しないでください。
- 接続するコンセントの容量が十分に余裕のあることを確認してから使用してください。
- テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、電源コードのたこ足配線はしないでください。
- 電源プラグにはこり、異物等の付着したままコンセントに差し込まないでください。
- 変形したり、傷んだ電源コードを使用しないでください。
- 本製品を通電状態で移動させないでください。
 - ・ 故障、発煙、火災、感電の原因になることがあります。
 - ・ 容量オーバーにより供給線の発熱発火や電源が遮断される恐れがあります。
- 上に物を置いたり、足で踏んだりして荷重がかかる状態で使用しないでください。
- 無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりした状態で使用しないでください。（また、この状態での本製品の持ち運びもしないでください。）
- 電源コードをむやみに加工しないでください。
- 暖房器具や熱器具などの近くに配線しないでください。
- 電源コードが、断線、被覆が溶けたりして芯線の露出等で漏電、感電、故障の原因になることがあります。電源コードが傷んだらお買い求めの販売店へご連絡ください。
- 電源プラグのまわりには物を置かないでください。
- 本体の近くにコンセントがあり、いつでも電源プラグが抜ける状態で使用してください。
 - ・ 万一、非常に電源を遮断できなくなります。
- 電源プラグはコンセントに正しく、電極の根元まで差し込んでください。
- 長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 電源コード、各ケーブルの抜き差しは相手側も含め必ず電源を切った後プラグ、コネクターを持って行ってください。



⚠ 注意

下図の位置に注意ラベルが貼ってありますので、取扱上の注意をよく読んで正しく使用してください。



このラベルは、ヘッド部が「高温になる」為、接触するとやけどをする恐れがあることや、ペーパーカバーを開けた際にオートカッターに触れると手を切る恐れがあることへの注意喚起を表しています

■本製品にロールペーパーをセットしたまま輸送しないでください。

- ・プリンターの故障や破損の原因になることがあります。

本製品の故障を未然に防ぐため下記の状態で使用しないでください。

- 印字中は、前面カバーを開けないでください。
- 記録紙をセットしない状態
- 指定用紙以外は使用しないでください。
- ・印字品質の劣化の原因になることがあります。
- 用紙どうしをセロテープ等でつなぎ合わせての接続使用はしないでください。
- セットされた用紙を無理に手で引っ張ったりする事は絶対にしないでください。
- 前面カバーの開閉時に用紙を挟み込まないようにしてください。
- ・用紙詰まりの原因になることがあります。
- オペレーションパネル部の操作は、ペン先などの鋭利な物では絶対に行わないでください。



■コネクターケーブルの接続は確実に行ってください。

- ・万一極性が逆に接続されると内部の素子が破壊されたり、相手側の機器に悪影響を及ぼすことがあります。



けが及び拡大被害を防ぐために下記の注意事項は必ずお守りください。

- サーマルヘッドの印字部にはさわらないでください。
- 印字中、本体内部のカッター及びギヤなどの可動部、電気部品などに手を触れないでください。
- 故障の時は、本製品の分解等は行わず、お買い求めの販売店へご連絡ください。
- カバー等の開閉時に手や指等を挟まないようにしてください。
- 板金のエッジ部等で、身体や他の物を傷つけないように注意してください。
- ・ 感電、やけど等のけがの原因になることがあります。



万一、使用中に発煙、異臭、異音等の異常が発生したら直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いてください。

① 日常のお手入れ

本製品のメンテナンスなどを行う場合、下記の注意を必ずお守りください。

- お手入れは必ず本体の電源を切り電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- 本体ケース表面の汚れ、ほこりは、乾いた柔らかな布で拭き取ってください。
- 汚れがひどい場合は、水に濡らし固く絞ったふきんで拭き取ってください。
- アルコール類、シンナー、トリクレン、ベンジン、ケトン系等の有機溶剤や化学ぞうきんなどは絶対に使用しないでください。
- 紙粉で汚れた場合は、柔らかいブラシ、ハケ等を使用して掃除してください。



⚠ 注意

- ・ ヘッドは高温になっています。印字直後の作業はやめてください。

目次

1. はじめに	10
1.1 特長	10
1.2 同梱品.....	11
1.3 機種分類	12
1.4 仕様一覧	13
1.5 使用電源	14
2. プリンター各部の説明	14
2.1 プリンター外観	14
2.2 前面カバー内部	15
2.3 オペレーションパネル	16
2.4 その他内蔵機能	16
3. 準備	17
3.1 ラックへの取付	17
3.2 電源およびデータケーブルの接続	18
3.3 前面カバーの開閉.....	20
3.4 用紙のセット	20
3.5 ペーパーアジャストガイドの調整	21
3.6 DIPスイッチの設定.....	22
3.7 各種電子ファイルの入手先	23
4. メンテナンスとトラブル	24
4.1 カッターロックの解除方法	24
4.2 ヘッドやプラテンのクリーニング	25
4.3 セルフ印字	25
4.4 16進ダンプ印刷	26
4.5 プリンタリセット	26
4.6 エラー表示	27
5. その他	28
5.1 外形および寸法	28
5.2 印字用紙	29
5.3 メモリースイッチのマニュアル設定.....	30
5.4 電源およびインターフェースのコネクター仕様	33
5.5 USBインターフェースのコネクター仕様.....	34
5.6 PCタイプ	35
5.7 電源及びインターフェースのコネクター仕様	36

1.はじめに

本製品は、各種データ通信端末用、POS端末用、各種計測機器端末用などに広く利用可能なラック等への組み込みタイプのサーマルパネルプリンターです。

豊富な機能が盛り込まれていますので、各種の用途に広くご利用いただけます。

ご使用前に、本取説明書を十分に読み、ご理解したうえでご使用ください。

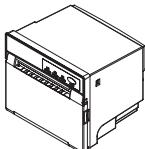
1.1 特長

- クラムシェル構造により、用紙交換、ヘッドクリーニングが容易
- パネル部防滴構造(鉛直から落ちてくる水滴 () 保護等級JIS1級)
- 最大150mm/secの高速印字が可能
- ラインサーマル方式による低騒音印字
- -20°Cまでの低温動作対応*
- オートカッターを装備 (フルカット/パーシャルカット) (CT-P291/CT-P293)
- USB インターフェースを工場オプションで装備可能
- インプットバッファ内蔵
- メモリースイッチにより、機能の選択が多様化
- ユーザーメモリーにユーザー作成文字、ロゴを登録可能
- ページモードによる自由な印刷レイアウトが可能
- バーコード、2次元コード対応
- 専用ケースにより設置が容易な据置きタイプを用意 (PCタイプ)

*プリンター本体のみの対応で、電源やその他の周辺機器はユーザー側にてご用意ください。

1.2 同梱品

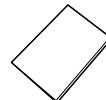
梱包を開く際、次のものが入っていることを確認してください。



プリンター本体



サンプルロール紙



クイックスタート
ガイド



(NNタイプ)



配線用ケーブル



フェライトコア



取付け金具



取付け金具
固定用ネジ



ワイヤー
クランプ



電源コネクター
ボード



電源コネクター
ボードカバー

電源コネクター
ボード取付けネジ



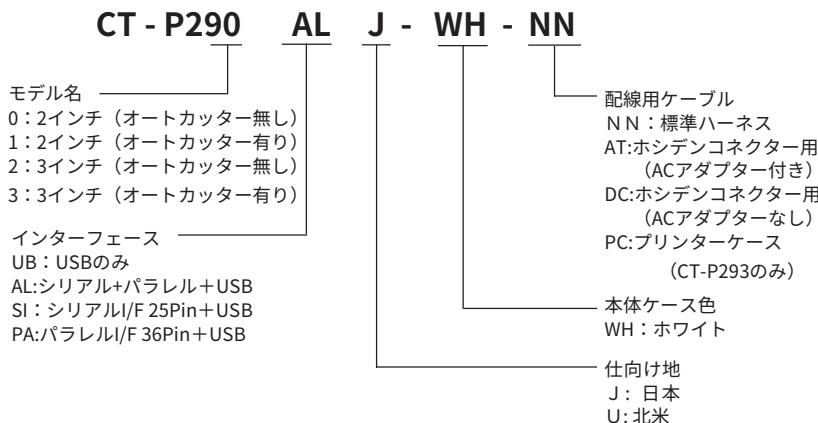
ACアダプター
Type 37AD5



AC電源コード

同梱品	配線仕様	NNタイプ	ATタイプ	DCタイプ	PCタイプ
プリンター本体		1	1	1	1
サンプルロール紙		1	1	1	1
クイックスタートガイド		1	1	1	1
配線用ケーブル		1	1	1	
フェライトコア		1	1	1	
取付け金具		1	1	1	
取付け金具固定用ネジ		2	2	2	
ワイヤークランプ		1	1	1	1
電源コネクターボード			1	1	
電源コネクターボードカバー			1	1	
電源コネクターボード取付けネジ		2	2		
ACアダプター			1		1
AC電源コード			1		1

1.3 機種分類



本取扱説明書は、日本向けモデル用です。

1.4 仕様一覧

項目	仕様					
モデル名	CT-P290	CT-P291	CT-P292	CT-P293		
印字方式	ラインサーマルドット印字方式					
印字幅	51mm／408 ドット		72mm／576 ドット			
ドット密度	8 ドット／mm					
印字スピード ^{※1}	MAX 150mm／秒 (1200 ドットライン／秒)					
紙送りピッチ	0.125mm					
印字桁数	FontA : 34 行		FontA : 48 行			
	FontB : 45 行		FontB : 64 行			
	FontC : 51 行		FontC : 72 行			
	漢字FontA : 17 行		漢字FontA : 24 行			
	漢字FontC : 25 行		漢字FontC : 36 行			
印字寸法	FontA : 12×24 ドット 1.50×3.00mm					
	FontB : 9×17 ドット 1.13×2.13mm					
	FontC : 8×16 ドット 1.00×2.00mm					
	漢字FontA : 24×24 ドット 3.00×3.00mm					
	漢字FontC : 16×16 ドット 2.00×2.00mm					
文字フォント内部のスペースを含むため、実際の文字は上記表より小さくなります。						
文字種類	英数字、国際文字 (12文字×16力国)、Code 437、850、852、857、858、860、863、864、865、866、WPC1252、カタカナ、Thai code18 漢字 (JIS第1、第2)、カナ、JIS C 6226-1983					
ユーザーメモリー	256KB (ユーザー作成文字、作成口ゴを登録可能)					
バーコード種類	UPC-A/E、JAN (EAN) 13 行／8 行、ITF、CODE39、CODE128、CODABAR、CODE93 PDF417、QRコード					
行間隔	4.25mm (約1/6インチ) コマンドにより設定可能					
用紙	用紙幅 : 48mm～58mm		用紙幅 : 58mm～80mm			
	紙厚 : 60～75μm、紙外形φ50mm以下、紙管外形φ18mm以上					
インターフェース ^{※2}	シリアル (RS-232C準拠) パラレル (セントロ or IEEE1284ニブルモード準拠) USB (オプション)					
	インプットバッファー					
	4K／45バイト (パラレルは4K設定のみ)					
入力電源	入力電圧DC24V±10% 消費電流1.9A (ピーク9A)					
質量	650g	700g	750g	800g		
				1200g (PCモデル)		
外形寸法	2インチモデル : 107(W) x 120.5(D) x 109 (H) mm 3インチモデル : 127(W) x 120.5(D) x 109 (H) mm					
	動作温度 ^{※3}					
保存温度	-20～50°C (※37AD5使用時は0～45°C) 35～85% (結露無きこと)					
	-20～60°C 10～90% (結露無きこと)					
信頼性	プリンターヘッド寿命 : 100km、1億パルス (常温、常湿、指定推奨紙) オートカッターライフ : 100万カット (常温、常湿、用紙65μm フルカット時)					
	適合規格 ^{※4}					
	VCCI ※					

※ その他の地域、規格番号等の最新の状況については弊社までお問い合わせください。

注) ※1: 上記印字速度は24.0V、25°C、印字Duty12.5%での条件下のものです。

印字速度については、印字条件の設定やコマンドの組み合わせにより遅くなる場合があります。

※2: 搭載インターフェースは、機種分類により異なります。

※3: ただし、一部の印字品質は保証されません。

※4: 弊社製ACアダプター37AD5を使用した場合の取得規格です。

1.5 使用電源

次の仕様を満たす電源を用意してください。

DC 24V±10% 1.2~1.5A (ピーク9A以上) 供給できるもの

電源容量がピーク6A~9A以下の場合は、低消費電流モードを推奨します
(DIPスイッチNo.7 : ON)



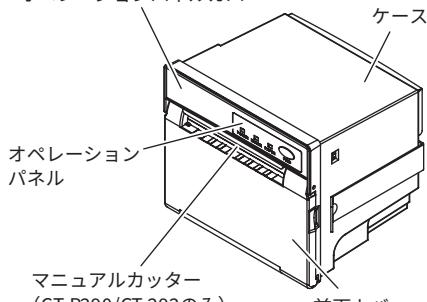
注意

■電源は、電流容量が極端に大きいものは避けてください。

2. プリンター各部の説明

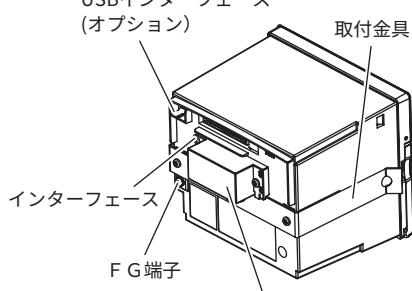
2.1 プリンター外観

オペレーションパネルカバー



(正面図)

USBインターフェース
(オプション)



(背面図)

●前面カバー

用紙交換、紙づまり時等に開閉します。

●マニュアルカッター (CT-P290/CT-292のみ)

用紙をカットする時に使用します。（用紙長が短いと、切り残しがでる場合があります）

●ケース

内部のメカニズムを覆っています。過度な力を加えないでください。

●オペレーションパネルカバー

DIPスイッチの設定変更時に開閉します。

●オペレーションパネル

プリンターの状態をLED表示します。FEEDボタンにより、紙送りができます。

●USBインターフェース (オプション)

ミニBタイプのコネクターを使用してください。



5.4 電源およびインターフェースのコネクター仕様参照

●インターフェース

付属の電源および配線用ケーブルを接続します。

●F G端子

本体のフレームをアース接続します。必ず配線してください。

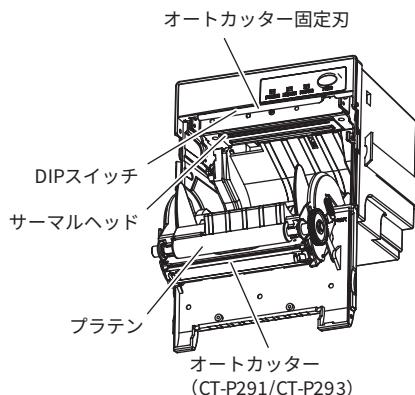
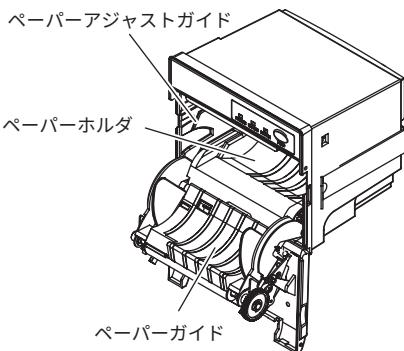
●取付金具

本体をラック等に固定する金具です。

●電源コネクターボード

ACアダプターの接続に使用します。

2.2 前面カバー内部



●ペーパーホルダ

感熱ロール紙を装填するところです。



3.4 用紙のセット参照

●ペーパーアジャストガイド

セットする用紙幅に合わせて、本ガイドを調整します。

●ペーパーガイド

感熱ロール紙を装填後、ロール紙を保持します。

●オートカッター固定刃

用紙をカットする時に使用します。

●DIPスイッチ

各種設定を行います。



3.6 DIPスイッチの設定参照

●サーマルヘッド

サーマル紙に文字やグラフィックデータを印字します。

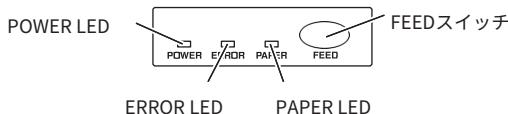
●プラテン

サーマル紙をサーマルヘッドに押しつけながら、紙送りをします。

●オートカッター(CT-P292/CT-P293)

印字終了時にコマンドで紙をカットすることができます。カット方法はパーシャルカットとフルカットをコマンドで切り替えることができます。

2.3 オペレーションパネル



● FEEDスイッチ

スイッチを押すと紙送りをします。長く押すほど、たくさん紙送りします。
オートカッターエラー時、原因の除去後FEEDスイッチを押すとエラーを解除します。

● POWER LED (緑)

電源が入ると点灯し、切れると消えます。特殊なモードやエラー時に点滅や点灯します。

● ERROR LED (赤)

エラー時などに点灯または点滅します。

点滅の間隔などにより、エラーの種類を示します。

4.6 エラー表示参照

● PAPER LED (橙)

紙なし時に点灯または点滅します。

2.4 その他内蔵機能

● ユーザーメモリー

ユーザー作成のロゴデータや文字データをメモリー上に保存することができます。
保存されたデータは、電源を OFF にした後も残ります。保存方法については、
別冊のコマンドリファレンスを参照してください。

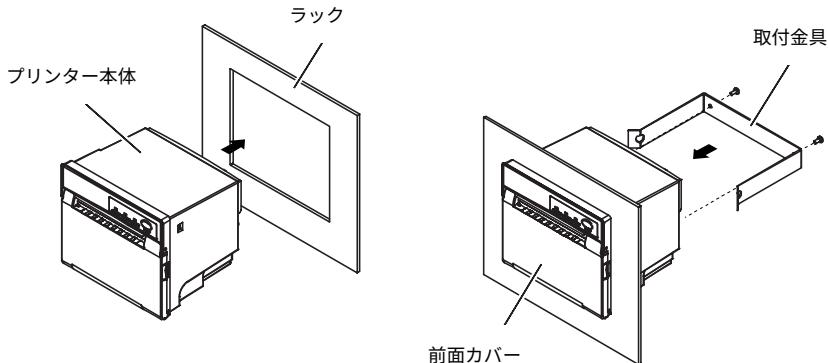
● メモリースイッチ (メモリーSW)

各種機能の設定を不揮発メモリー上に保存することができます。保存された設定は、電源が切られても有効です。

3. 準備

3.1 ラックへの取付

1. 下図の通り所定のラック等に本体を挿入します。
2. 後方より付属の取付金具で本体をはさみ、付属のネジで本体を固定します。
3. 取付後、前面カバーの開閉を確認してください。
4. ネジの締め付けは取付金具、本体ケースが変形しない程度にしてください。締めすぎは本体にストレスを与えるだけでなく、故障等の原因になります。
5. 取付のラックの厚さは、1~3mm程度としてください。



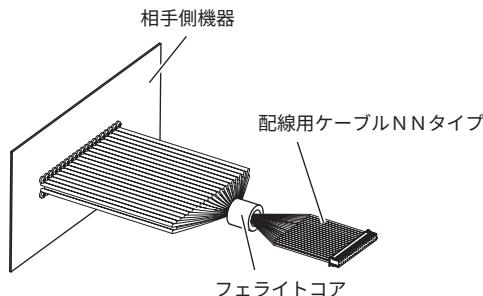
⚠ 注意

- 取付金具を取り付けるネジは、長さ15mm以上のものは使用しないでください。
- プリンター本体は、前面カバーが垂直になるように取り付けてください。

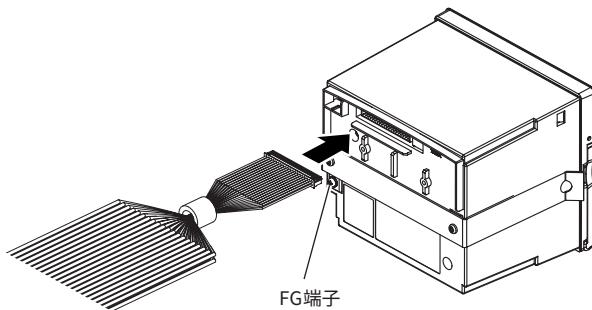
3.2 電源およびデータケーブルの接続

【NNタイプの場合】

- 接続する相手側機器の電源がOFFになっていることを確認してください。
- 仕様で指定された電源電圧及び電流容量が供給可能な電源 (DC24V±10%1.2~2.1A (ピーク電流9A以上) 供給できるもの) を用意します。
- 配線用ケーブルのピン番号を確認しながら、1本ずつフェライトコアを通し、相手側機器に配線してください。オープン式のフェライトコアの場合は、配線後取り付けてください。ピン番号は「5.4 電源及びインターフェースのコネクター仕様」を参照してください。ケーブルを自作する場合もフェライトコアを必ず使用してください。



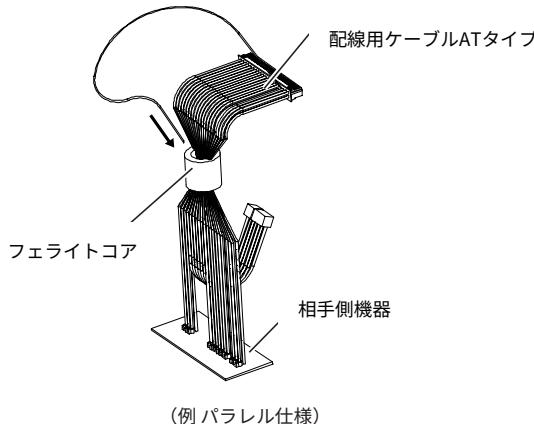
- プリンター本体の電源がOFFになっていることを確認した上で、プリンター本体とコネクターの位置を間違えないようにしながらしっかりと接続します。



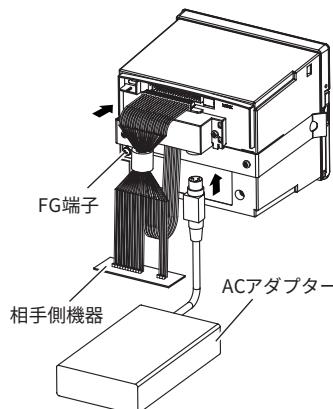
- 本体のFG端子をアース接続します。ノイズや静電気等の防止のため必ず接続してください。接続は背面の端子ネジにてしっかりと固定してください。

【ATタイプの場合】

- 接続する相手側機器の電源がOFFになっていることを確認してください。
- 配線用ケーブルのピン番号を確認しながら、1本ずつフェライトコアを通し、相手側機器に配線してください。オープン式のフェライトコアの場合は、配線後取り付けてください。ピン番号は「5.4 電源及びインターフェースのコネクター仕様」を参照してください。ケーブルを自作する場合もフェライトコアを必ず使用してください。



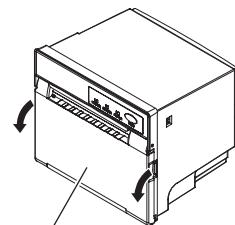
- 電源がOFFになっていることを確認した上で、電源コネクターボード2箇所をネジで固定します。
- 電源とインターフェースコネクターを、プリンター本体とコネクターの位置を間違えないように、しっかりと接続します。



- 本体のFG端子をアース接続します。ノイズや静電気等の防止のため必ず接続してください。接続は背面の端子ネジにてしっかりと固定してください。

3.3 前面カバーの開閉

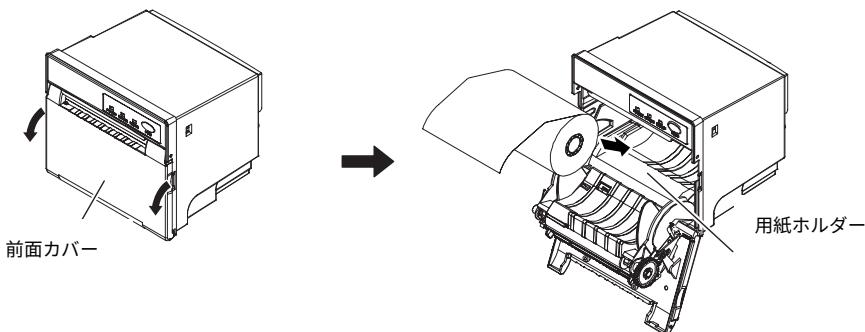
1. 前面カバーの左右にある凹部に指をかけて矢印の方向に引いてください。下方向に約180°開きます。
2. 閉める時は、前面カバーを押さえしっかりと閉めてください。また、閉める際には用紙の弛みなどを確認してください。用紙が弛んだまま閉めると、紙つまり等の原因になります。



前面カバー

3.4 用紙のセット

1. 前面カバーの両側にある凹部に指をかけ、前面カバーを引いてください。
2. 前面カバーを15°くらい開けるとカッターユニットが離れ、用紙ホルダーが現れます。
3. 用紙の巻き方向を確認して、用紙を用紙ホルダーに入れてください。
4. 用紙先端を、ケース上面より5cm程出して前面カバーを閉じてください。



⚠ 注意

- 印字中は前面カバーを開けないでください。
- 用紙は、必ず指定された用紙を使用してください。指定用紙以外を使用すると印字品質、寿命等を保証できない場合があります。
- 用紙は真っすぐに、弛みがないようにセットしてください。
- 印字直後はプリントヘッドが高温になっているため手を触れないように注意してください。
- 前面カバーは両端を押さえ確実に閉じてください。片端を押さえて閉じると片閉じし、印字むらが発生することがあります。
- 前面カバーを閉じる時に指を挟まないように注意してください。
- カッター固定刃及びマニュアルカッターに指を触れないように注意してください。

3.5 ペーパーアジャストガイドの調整

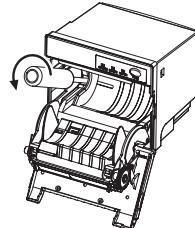
ペーパーアジャストガイドの位置を変えることにより用紙幅の狭い用紙がセットできます。

工場出荷時、本ペーパーアジャストガイドは以下の位置にセットされています。

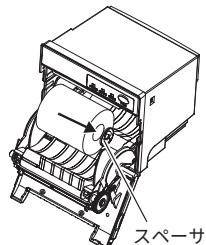
●CT-P290/CT-P291の場合：58mm幅ロール紙用

●CT-P292/CT-P293の場合：80mm幅ロール紙用

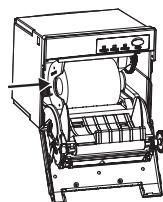
1. 前面カバーを開け、ペーパーアジャストガイドをとめているネジをプラスドライバーでゆるめます。ゆるめる量はドライバー半回転くらいです。ゆるめすぎるとネジが外れますので注意してください。



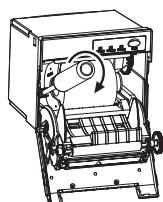
2. 使用するロール紙とペーパーアジャストガイドの隙間を確保するために1~2mmのスペーサ（コイン等）をFEEDスイッチ側のペーパーホルダーにセットします。



3. ペーパーアジャストガイドをロール紙の端面に押しあて、ペーパーアジャストガイドの位置決めをします。



4. ペーパーアジャストガイドが斜めにならないように指で押さえながら、プラスドライバーでネジを締め、アジャストガイドを固定します。強く締めすぎるとペーパーアジャストガイドが割れる恐れがありますのでご注意ください。
5. スペーサを抜き取り、ロール紙を左右に動かし隙間があることを確認してください。



!**注意**

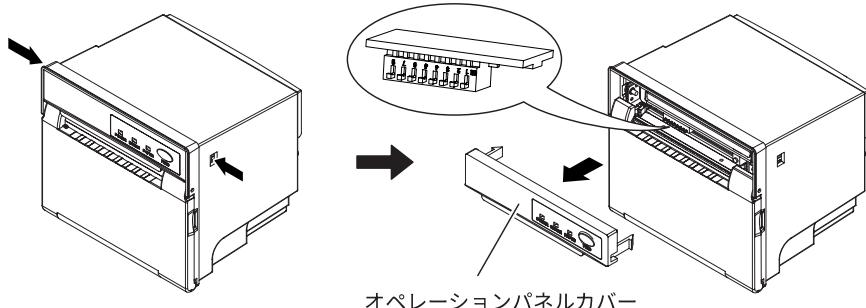
- 用紙幅を変更すると使用条件によっては、印字品質の低下、用紙送りの不具合、使用寿命が短くなる等の現象がまれに発生する場合があります。その場合は、印刷の使用条件に不具合がないか確認してください。それでも改善されない場合は、工場出荷時の用紙幅に戻してください。
- 用紙幅を変更すると用紙の装填性がおちる場合があります。

3.6 DIPスイッチの設定

DIPスイッチの設定は、オペレーションパネルカバーを外す必要があります。
下記に従いオペレーションパネルカバーをはずしてください。

1. 電源をOFFにしてください。
2. 両側のフックを押し、オペレーションパネルカバーをはずしてください。
3. DIPスイッチを設定してください。
4. オペレーションパネルを元に戻してください。

(オペレーションパネルを外したままでは、プリンターは動作しません。)



各DIPスイッチの機能は、下記のとおりです。

スイッチNo.	機能	OFF	ON	初期値
1	オートカッター	CT-P291/293：ー CT-P290/292：無し	CT-P291/293：有り CT-P290/292：ー	※1
2				OFF
3	インターフェース	下記別表		OFF
4	予備	固定	ー	OFF
5	予備	固定	ー	OFF
6	搭載ヘッド	CT-P290/291：ー CT-P292/293：3インチ	CT-P290/291：2インチ CT-P292/293：ー	※2
7※3	印字	通常	低消費電流	OFF
8	予備	固定	ー	OFF

※1 モデルにより初期値が異なります。

CT-P291/293：ON

CT-P290/292：OFF

※2 モデルにより初期値が異なります。

CT-P290/291：ON

CT-P292/293：OFF

※3 DIPスイッチNO.7をONにし、低消費電流を選ぶと印字速度は70mm/sとなります。

インターフェースの選択

ポート (bps)	スイッチNo.	
	2	3
パラレル+USB (VCOM)	OFF	OFF
パラレル+USB (プリンタクラス)	OFF	ON
シリアル MSW設定+USB (VCOM)	ON	OFF
シリアル 19200※+USB (プリンタクラス)	ON	ON

※ 19200bps、ストップビット1、データ長8ビット、パリティ無し固定です。

※ PCタイプシリアルの初期設定は2-ON、3-OFFです。

3.7 各種電子ファイルの入手先

サポート情報と最新のドキュメント、ドライバー、ユーティリティー等は下記のサイトからダウンロードが出来ます。

<https://www.citizen-systems.co.jp/printer/download/#CT-P290>

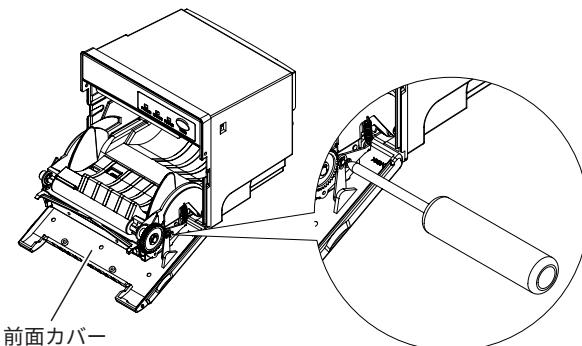
4. メンテナンスとトラブル

4.1 カッターロックの解除方法

オートカッターは異物落下、紙ジャム等によりカッターロックエラーが生じる場合があります。軽微なカッターロックエラーであればFEEDボタンを押すか、カッターロック解除コマンドにて自動復帰動作を行ってください。オートカッターはイニシャル位置に復帰します。また、電源の再投入でもイニシャル位置に復帰させることができます。

上記にて復帰不可能なカッターロックエラーは以下の手順で解除してください。

1. 電源を切ってください。
2. 前面カバーの両側にある凹部に指をかけ、前面カバーを引いてください。
3. カッターの刃がオペレーションパネルカバーに当たって前面カバーが開かない場合は奥にあるフックをはずして、オペレーションパネルカバーを本体からはずしてください。その後前面カバーを引いてください。
4. 前面カバーを開き、カッターロックの原因を取り除いてください。
5. 右横にある白いプラスチックのネジをドライバーで回転させて刃を下げてください。
6. 用紙を正しくセットし、前面カバーを閉じて電源を入れてください。この時、ERROR LEDの消灯を確認してください。

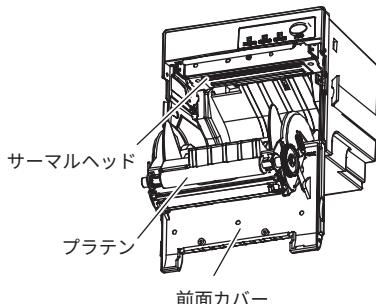


⚠ 注意

- 印字直後はプリントヘッドが高温になっているため、手で触れないように注意してください。
- プリントヘッドの発熱体表面に素手や金属等で触れないでください。
- カッターの刃部に触れないように注意してください。
- FEEDボタンを押すか、カッターロック解除コマンドにて複数回実施しても復帰しない場合には上記1)以降の操作を行ってください。復帰不可能な状態で連続した操作を行わないでください。

4.2 ヘッドやプラテンのクリーニング

サーマルヘッド、プラテンユニットに塵や紙粉等が付着すると、印字品質の低下や、用紙送り不良等のトラブルの原因になります。定期的にサーマルヘッド、プラテンユニットのクリーニングを行ってください。



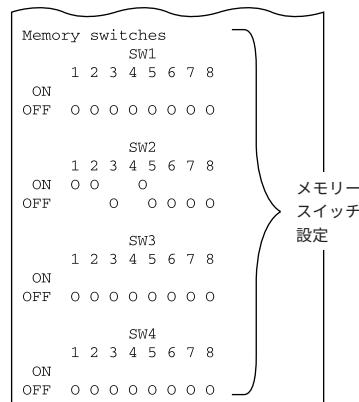
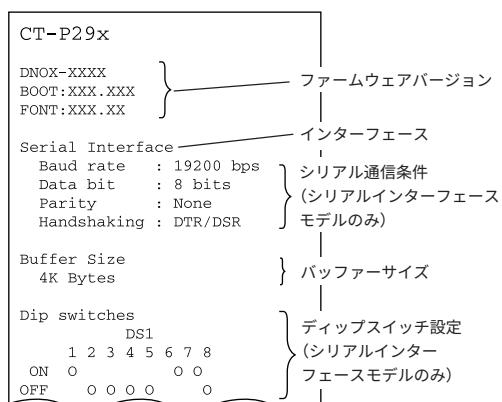
1. 電源を切ってください。
2. 前面カバーの両側にある凹部に指をかけ、前面カバーを引いてください。
3. サーマルヘッドの発熱体表面、プラテンゴム部表面に付着したゴミ類をエタノールを含ませた綿棒で拭き取ってください。

! 注意

- 印字直後はプリントヘッドが高温になっているため、手で触れないように注意してください。
- プリントヘッドの発熱体表面に素手や金属等で触れないでください。

4.3 セルフ印字

用紙をセットした状態でFEEDスイッチを押しながら電源を投入し、そのまま1秒程度押したままにし、FEEDスイッチを放すとセルフ印字を行います。モデル名、バージョン、DIPスイッチ設定、メモリースイッチ設定、各フォントを印字します。



4.4 16進ダンプ印刷

この機能は、受信したデータを全て16進数で印字するものです。データが抜ける、データがダブるなどの問題があったときに、プリンターがデータを正しく受信しているのかどうか、確認できます。

用紙をセットし、前面カバーを開けたまま、FEEDスイッチを押しながら電源を入れ、カバーを閉めます。HEXダンプ印字モードと印字後、以降受信したデータを16進数と文字で印字します。

⚠ 注意

- データに該当する文字がない場合は、“.”を印字します。
- 16進ダンプ中は、一部のコマンドを除き、機能しません。
- 印字データが一行に満たない場合、FEEDスイッチを押すことにより、その行の印字を行います。

FEEDスイッチを3回連続で押すと“Completed”と印字し、16進ダンプ印刷を終了します。

印字例

HEXダンプ印字モード
1B 40 31 32 33 34 35 36 .@123456
37 38 39 30 0A 7890.

Completed

4.5 プリンタリセット

プリンターを初期状態に戻し、電源投入時と同じ状態にします。このプリンタリセット操作により、電源スイッチが存在しない、本プリンターが持つ各機能（4.3 セルフ印字、4.4 16進ダンプ印字、5.3 メモリースイッチのマニュアル設定）への移行開始に必要な、電源投入操作の代替として利用するための機能です。以下の方法でリセットしてください。

1. 前面カバーを開けて、ERROR LEDが点灯した状態で、FEED ボタンを3回連続で押してください。プリンターのリセットが開始されます。
2. 3回目に押してから約1秒後に全てのLEDが消灯し、それから約1秒で通常動作に入り、状況に応じてLEDが点灯します。印字可能正常状態であればPOWER LEDのみ点灯します。

⚠ 注意

- エラー状態（4.6 エラー表示）では、プリンタリセットは開始されません。

4.6 エラー表示

●前面カバーオープン

印字中は、絶対に前面カバーを開けないでください。万が一開けてしまった場合、ERROR LEDが点滅します。用紙を確認して、必ず数cmプリンターの外に真っすぐ引き出してから前面カバーを閉めてください。印字が再開されます。メモリースイッチの設定によっては、印字再開のためにコマンドを送る必要があります。

●カッターロック

紙詰まりなどでカッターの刃が動かなくなった場合、ERROR LEDが点滅します。障害を取り除き、FEEDスイッチを押してください。それでも刃が動かず、カバーが開かない場合は、お買い求めの販売店へご連絡ください。

●サーマルヘッドオーバーヒート

濃い印字、黒い部分の多い印字を続けると、サーマルヘッドの温度が上がります。一定の温度を超えると、印字を停止し、ヘッドの温度が下がるのを待ちます。この時、ERROR LEDが点滅します。温度が下がると自動的に印字を再開します。

上記以外のエラーを含め、それぞれの点灯、点滅の状態は下記のとおりです。

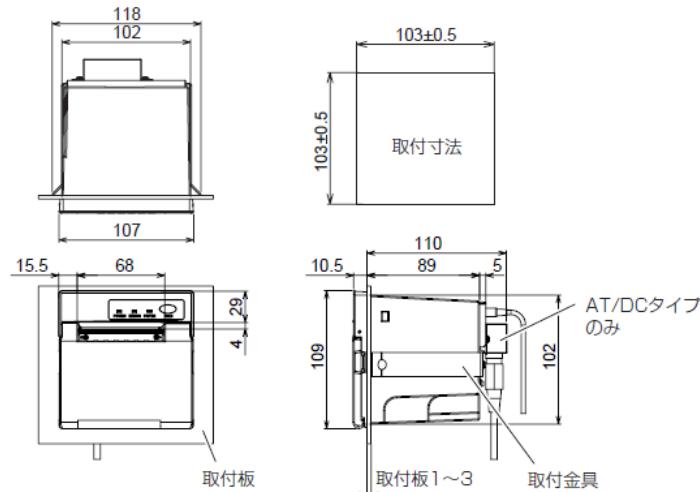
状 態	POWER LED (緑)	ERROR LED (赤)	PAPER LED (橙)
ヘッドオーバーヒートエラー	点灯		—
前面カバーオープン(待機時)	点灯	点灯	—
前面カバーオープン(印字中)	点灯		—
カッターロックエラー	点灯		—
メモリーチェックエラー		—	—
低電圧エラー	点灯		—
高電圧エラー	点灯		—
ペーパーエンド	点灯	点灯	点灯
マクロ実行待ち	点灯		—

5. その他

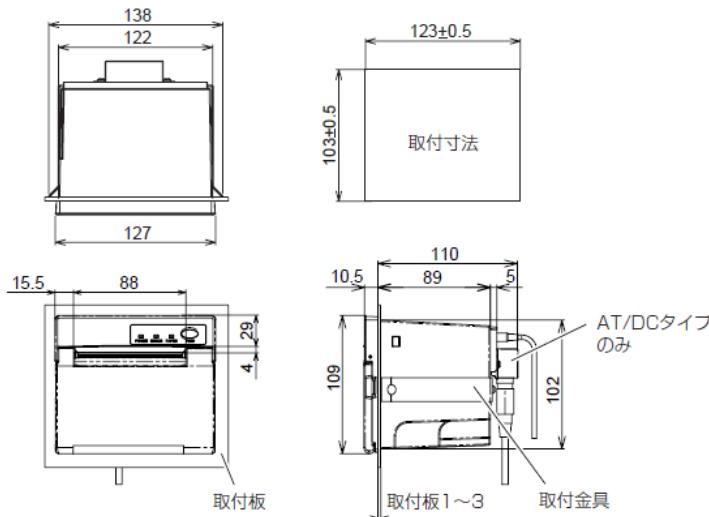
5.1 外形および寸法

CT-P290/CT-P291 (2インチモデル)

(単位: mm)



CT-P292/CT-P293 (3インチモデル)

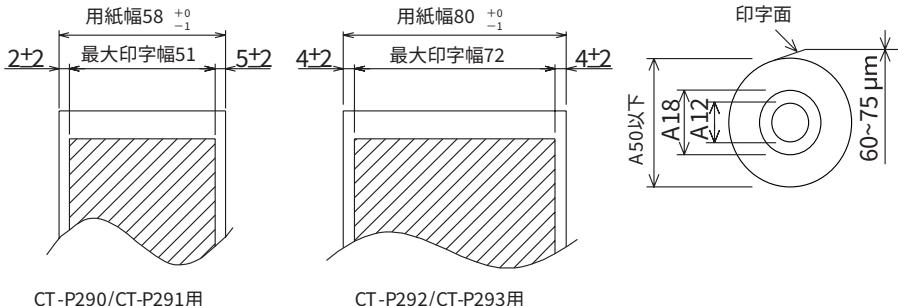


5.2 印字用紙

印字用紙は下記の表のもの、あるいは、同等品をご使用ください。

用紙の種類	製品名
推奨感熱ロール紙	日本製紙 TF50KS-E2D 王子製紙 PD160R 三菱製紙 F230AA

(単位: mm)



⚠ 注意

ロール紙の芯への巻き始めが、以下の通りになっているものを使ってください。

- 折り目がなく、内径に沿っていること。
- 折り返しがないこと。
- 芯への糊付けがないこと。
- 外巻き(印字面が外側)になっていること。

5.3 メモリースイッチのマニュアル設定

メモリースイッチ(メモリーSW)は、マニュアルか、コマンドで設定できます。マニュアルでの設定は、次ページを参照ください。

各メモリースイッチの機能は、下記の表のとおりです。(白黒反転文字は、出荷時設定)

スイッチ番号	設定内容	0 (OFF)	1 (ON)
メモリーSW1-1	電源ON通知設定	有効	無効
SW1-2	インプットバッファー ※1	4K bytes	45 bytes
SW1-3	Busy条件	フル/オフライン	バッファフル
SW1-4	受信エラー文字	“?”文字	無効
SW1-5	CR モード	無効	有効
SW1-6	予約	固定	—
SW1-7	DSR 信号選択	無効	有効
SW1-8	予約	固定	凶
メモリーSW2-1	予約	—	固定
SW2-2 ※2	オートカッター動作	無効	有効
SW2-3	バッファリング	無効	有効
SW2-4	フル桁印字	即改行	データ待ち
SW2-5	カバークローズ復帰	次行印字	先頭印字
SW2-6	予約 ※4	—	—
SW2-7	予約	固定	—
SW2-8	予約	—	固定
メモリーSW3-1	オートカッター復帰	FEEDスイッチ有効	FEEDスイッチ無効
SW3-2	予約	固定	—
SW3-3	パラレルリセット	リセット	無視
SW3-4	予約	固定	—
SW3-5	印字桁数 ※3	48 (CT-P292/CT-P293) 34 (CT-P290/CT-P291)	32 32
SW3-6	予約	固定	—
SW3-7	CBM1000互換モード	無効	有効
SW3-8	印字中カバーオープン	自動復帰	復帰可能
メモリーSW4-1	予約	—	固定
SW4-2	予約	—	固定
SW4-3	用紙頭出しカット	無効	有効
SW4-4	予約	固定	—
SW4-5	予約	固定	—
SW4-6	予約	固定	—
SW4-7	予約	固定	—
SW4-8	強制バーシャル	無効	有効

※1 パラレルI/F及びUSB I/F時、この設定に関わらずインプットバッファは4Kbytesとなります。

※2 MSW2-2はDS1がON (有効) 時のみ機能します。

※3 DSW-6の設定によります。

※4 DSW-6の設定によります。

スイッチ番号	設定内容	0 (OFF)	1 (ON)
メモリーSW5-1	予約	固定	—
SW5-2	予約	固定	—
SW5-3	予約	固定	—
SW5-4	予約	固定	—
SW5-5	予約	固定	—
SW5-6	速度/品質	速度優先	品質優先
SW5-7	予約	固定	—
SW5-8	予約	固定	—

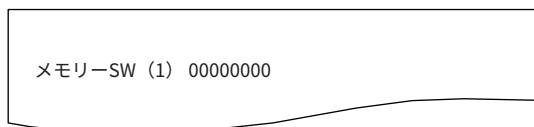
スイッチ番号	設定内容	初期値	設定値
メモリーSW7-1	シリアルボーレート	9600bps	1200bps,2400bps,4800bps,9600bps,19200bps, 38400bps,57600bps
SW7-2	シリアルデータ長	8bits	7bits,8bits
SW7-3	シリアルストップビット	1bit	1bit,2bits
SW7-4	シリアルパリティー	無効	無効, 偶数, 奇数
SW7-5	シリアルプロトコル	DTR/DSR	DTR/DSR, XON/XOFF
SW7-6	予約	—	—
SW7-7	VComフロー制御	PC設定	PC設定, DTR/DSR,XON/XOFF
メモリーSW9-1	コードページ	Katakana	PC437/Katakana/PC850,858/PC860/PC863/ PC865/PC852/PC866/PC857/WPC1252/ Space page/PC864/タイコード18
SW9-2	国際文字	日本	アメリカ,フランス,ドイツ,イギリス,デンマーク,スウェーデン,イタリア,スペイン,日本,ノルウェー,デンマーク2,スペイン2,ラテンアメリカ,韓国,クロアチア,中国
SW9-3	漢字	有効	有効, 無効
SW9-4	JIS/シフトJIS	JIS	JIS,シフトJIS
メモリーSW10-1	印字濃度	100%	70%, 75%, 80%, 85%, 90%, 95%, 100%, 105%, 110%, 115%, 120%, 125%, 130%, 135%, 140%
SW10-2	印字速度	レベル9	レベル1,レベル2,レベル3,レベル4,レベル5,レベル6, レベル7,レベル8,レベル9
SW10-3	予約	—	—

メモリースイッチ（メモリーSW）のマニュアルでの設定方法

FEEDスイッチを押す、FEEDスイッチを長く押す、前面カバーの開閉の3つの動作を組み合わせることにより、メモリースイッチの選択、変更、書き込みなどをします。

1. メモリースイッチ設定モードに入る

プリンターに用紙をセットし、前面カバーを開けた状態で、FEEDスイッチを押しながら電源を入れ、FEEDスイッチを2回押します。前面カバーを閉じて、メモリースイッチの現在の設定内容等が印字されたら、メモリースイッチ設定モードに入っています。



0 : OFF状態
1 : ON状態

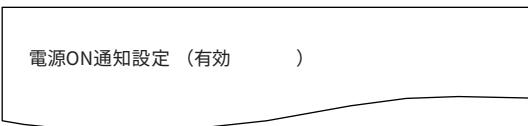
(メモリースイッチ7から10では、0/1での表記はなし)

2. メモリースイッチの選択

FEEDスイッチを短く（2秒以内）押すことにより、「メモリーSW1」→「メモリーSW2」→「メモリーSW3」→・・・「メモリーSW10」→「書込／工場出荷」→「メモリーSW1」→・・・と繰り返し印字されます。変更したいメモリースイッチまで移動したら、FEEDスイッチを長く（2秒以上）押してください。

3. 各スイッチ項目の選択

各スイッチ内の設定値は2～15項目あります。FEEDスイッチを長く押すと、次の項目に移って、その項目の現在の設定値を印刷します。設定を変更したい項目になるまで、長押しを繰り返してください。



ERROR LEDが点灯した項目が現在選択されている設定値です

4. 設定値の変更

変更したい設定項目に移動したら、FEEDスイッチを短く押してください。変更された設定値が印字されます。（設定値の変更を繰り返すと元の設定値に戻ります。）FEEDスイッチを長く押すと設定値が確定され、次の設定項目に移ります。

5. メモリースイッチの選択モードに戻る

変更したい内容の設定が終了しましたら、前面カバーを開け、そのままもう一度閉めてください。これにより変更されたメモリーSWの設定を印字します。

6. 設定の保存とメモリースイッチ設定モードの終了

FEEDスイッチを短く押して、「書込／工場出荷」まで移動します。ここで、FEEDスイッチを長く押してください。新しい設定内容を印字し、メモリースイッチ設定モードを抜けて、通常印字待可能な状態に戻ります。

※ この設定の保存を行わないと変更した設定が反映されません。

7. メモリースイッチの初期化

メモリースイッチの設定を初期状態に戻したい場合、上記の要領で「書込／工場出荷」まで移動します。ここで、前面カバーを開けてFEEDスイッチを長く押します。これにより初期状態の設定に戻ります。

※ メモリースイッチが全て工場出荷時の設定に戻ります。

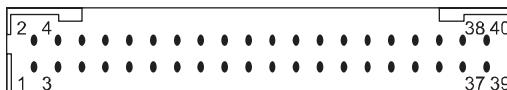
5.4 電源およびインターフェースのコネクター仕様

電源、シリアルインターフェース、パラレルインターフェースのコネクターピン配列を示します。

Pin No.	信号名	入出力	機能
1	A1	AUTOFD	入力 パラレルI/F AUTO FD
2	B1	SELECT	入力 パラレルI/F SELECT
3	A2	NC	— 使用不可
4	B2	GND	— GND
5	A3	GND	— GND
6	B3	GND	— GND
7	A4	Vp	— 駆動系電源
8	B4	Vp	— 駆動系電源
9	A5	Vp	— 駆動系電源
10	B5	Vp	— 駆動系電源
11	A6	Vp	— 駆動系電源
12	B6	Vp	— 駆動系電源
13	A7	GND	— GND
14	B7	GND	— GND
15	A8	GND	— GND
16	B8	GND	— GND
17	A9	GND	— GND
18	B9	GND	— GND
19	A10	—	— 使用不可
20	B10	ERROR	出力 ERROR LED 出力
21	A11	PE	出力 PE LED 出力
22	B11	DTR	出力 シリアルI/F DTR
23	A12	TXD	出力 シリアルI/F TxD
24	B12	RXD	入力 シリアルI/F RxD
25	A13	DSR	入力 シリアルI/F DSR
26	B13	nSTB	出力 パラレルI/F nSTB
27	A14	BUSY	出力 パラレルI/F BUSY
28	B14	nACK	出力 パラレルI/F ACK
29	A15	DATA 0	入力/出力 パラレルI/F DATA 0
30	B15	DATA 1	入力/出力 パラレルI/F DATA 1
31	A16	DATA 2	入力/出力 パラレルI/F DATA 2
32	B16	DATA 3	入力/出力 パラレルI/F DATA 3
33	A17	DATA 4	入力/出力 パラレルI/F DATA 4
34	B17	DATA 5	入力/出力 パラレルI/F DATA 5
35	A18	DATA 6	入力/出力 パラレルI/F DATA 6
36	B18	DATA 7	入力/出力 パラレルI/F DATA 7
37	A19	PE	出力 パラレルI/F PE
38	B19	nFAULT	出力 パラレルI/F nFAULT
39	A20	nRESET	入力 パラレルI/F nRESET
40	B20	SELECT IN	入力 パラレルI/F SELECT IN

使用コネクター:LY20-40P-DT1-P5E
適合コネクター:LY10-DC40

(日本航空電子相当品)

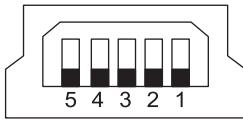


- a. ERRORとPEのLEDは電流値が10mAになるように回路側に抵抗330Ωが入っています。この端子を使用する場合は、順方向電圧が約2V定格のLEDを使用してください。10mAを超えるようなLEDを使用した場合コントロールボードが壊れる可能性があります。
- b. 電源用端子の駆動系電源(7~12Pin)、GND(13~18Pin)は、容量確保のため全てのピンに供給してください。
※4~6PinのGNDについては、インターフェースのGND等に使用してください。
必要ない場合は、13~18Pinと共にGNDと使用することを推奨します。
- c. シリアルインターフェースはRS-232Cのドライバーおよび、レシーバーを搭載しています、必ずRS-232Cレベルで使用してください。
- d. RESET端子(39Pin)は3.3KΩでブルアップされています。この端子を使用しない場合は、NCとしてください。
- e. シリアルインターフェースまたは、パラレルインターフェースのいずれかのインターフェースが使用できます。
※いずれかのインターフェースであり、同時に使用することはできません。
- f. 添付ケーブルは約300mmとなっています、必要に応じて長さを調整して使用してください。ただし、過度の延長配線はノイズ等の影響で誤動作の原因となりますので行わないでください。
※ノイズ等の影響を考え、使用しない配線は、根元から切断する等の処理を行ってください。
- g. 19Pinは本体内部で使用しているため、絶対に相手側機器と接続しないでください。

⚠ 注意

■誤った配線はプリンター本体だけではなく接続される相手側機器に対して障害を招く恐れがあります。

5.5 USBインターフェースのコネクター仕様



USB miniBタイプ

Pin No.	名称
1	VBus (+5V)
2	-Data (D-)
3	+Data (D+)
4	NC
5	GND

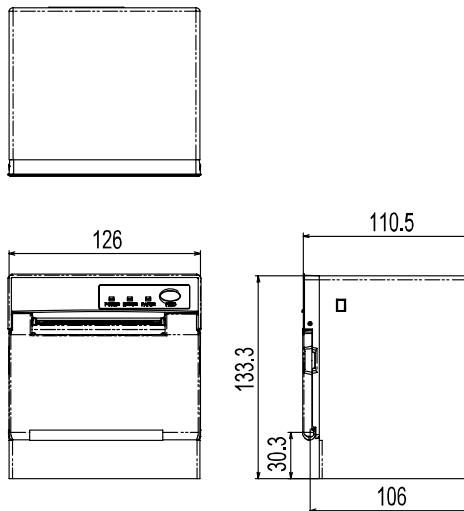
NC : None Connect

⚠ 注意

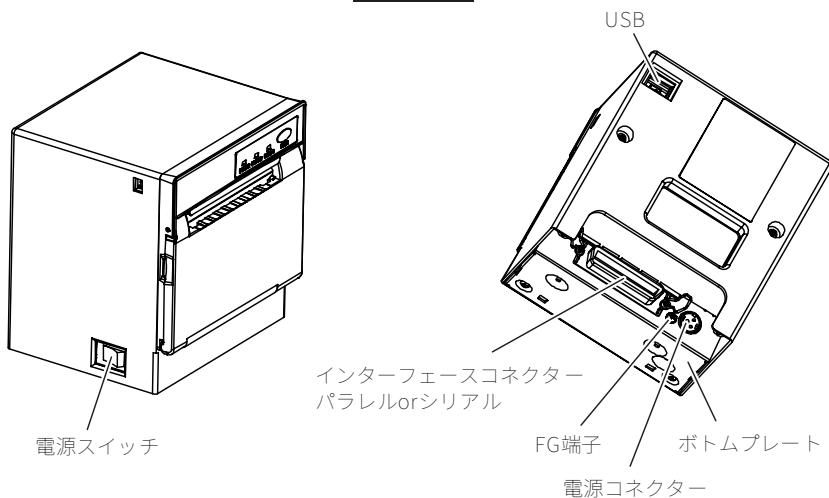
■USBインターフェースは工場オプションです、標準仕様のプリンターには実装されません。
■接続するUSBケーブルはコネクター形状をよくご確認の上ご購入ください。

5.6 PC タイプ

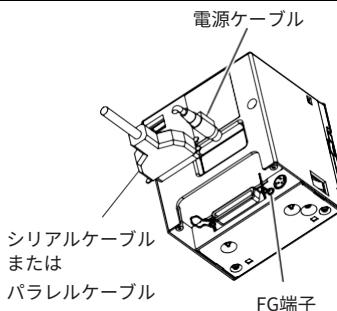
外形図



各部の名称



5.7 電源及びインターフェースのコネクター仕様



No.	信号名	入出力	機能
1	FG	—	保安用接地
2	TXD	出力	送信データ
3	RXD	入力	受信データ
4	RTS	出力	DTRと同じ
6	DSR	入力	データセットレディ
7	SG	—	信号用GND
20	DTR	出力	プリンターBUSY信号

適合コネクター (D-Sub コネクター)
 プリンター側 : 17LE-13250 (DDK相当品)
 ケーブル側 : 17JE-23250 (DDK相当品)

電源コネクター



Pin No.	機能
1	+24V
2	GND
3	N.C
4	SHELL
5	F.G

使用コネクター : TCS7960-53-2010 (ホシンデン)
 適合コネクター : TCP8927-63-1100 (ホシンデン)
 TCP8927-53-1100 (ホシンデン)

Pin	Source	Compatibility Mode	Nibble Mode
1	Host	nStrobe	HostClk
2	Host/Ptr	Data0(LSB)	Data0(LSB)
3	Host/Ptr	Data1	Data1
4	Host/Ptr	Data2	Data2
5	Host/Ptr	Data3	Data3
6	Host/Ptr	Data4	Data4
7	Host/Ptr	Data5	Data5
8	Host/Ptr	Data6	Data6
9	Host/Ptr	Data7	Data7
10	Printer	nAck	PtrClk
11	Printer	Busy	PtrBusy/Data3.7
12	Printer	PError	AckDataReq/Data2.6
13	Printer	Select	Xflag/Data1.5
14	Host	nAutoFd	HostBusy
15		NC	ND
16		GND	GND
17		FG	FG
18	Printer	NC	NC
19		GND	GND
20		GND	GND
21		GND	GND
22		GND	GND
23		GND	GND
24		GND	GND
25		GND	GND
26		GND	GND
27		GND	GND
28		GND	GND
29		GND	GND
30		GND	GND
31	Host	nInit	nInit
32	Printer	nFault	nDataAvail/Data0.4
33		GND	ND
34	Printer	NC	ND
35	Printer	NC	ND
36	Host	nSelect In	1284-Active

NC:None Connect

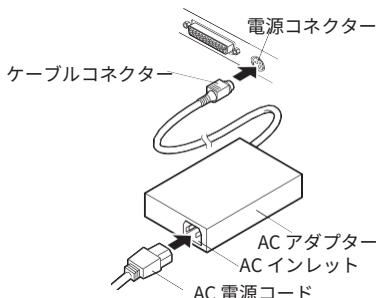
ND:Not Defined

適合コネクター : プリンター側 : 57LE-40360 (アンフェノール相当品)

ケーブル側 : 57-30360 (アンフェノール相当品)

(注) 5m以上のケーブルを使用しないでください。

ノイズ対策の十分されたケーブルを使用してください。



AC アダプタータイプ



注意

■ACアダプタータイプの場合は、ケーブルコネクターを電源コネクターに接続するときには、必ずAC電源コードを抜いてください。AC電源コードをコンセントに接続した状態では、ケーブルコネクターの24VとGND間の端子がネジ頭等に当たって短絡（ショート）してACアダプターの故障に至ることがあります。

ZH74901-80F